

News Release



BASF、日本語版 Facebook ページをスタート

2014 年 7 月 9 日

BASF（本社：ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン）は、日本における BASF の活動をより身近に感じてもらい、ステークホルダーと双方向でのコミュニケーションを図り、対話を深めることを目的に、本日、日本語での Facebook ページ (<http://www.facebook.com/basf.japan>) をスタートしました。

「化学でいい関係をつくります」をテーマに化学の魅力や BASF ジャパンの活動を発信していきます。

BASF はグローバルで 2008 年より Facebook をスタートし、これまでに 175,000 以上のいいね！を獲得しています。日本では、2013 年夏期間限定で「子ども実験教室」の日本での開催 10 周年を記念した Facebook ページを開設し、多くのステークホルダーの皆様に「化学」を体感いただいたことをきっかけに、本年より日本での Facebook ページを本格稼働します。

■日本の BASF について

BASF は日本では 1888 年に事業を開始いたしました。事業活動は、化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品の 4 分野です。主要生産拠点は神奈川県茅ヶ崎市（コンクリート混和剤、建設資材）、茨城県古河市（パーソナルケア製品原料）、茨城県北茨城市（プラスチック添加剤）、横浜市戸塚区（コーティングス）、三重県四日市市（熱可塑性ポリウレタン、ポリマーディスパーション）です。また、研究開発においては、日本から革新的な製品をグローバル市場に発信することを目指しています。2012 年には「横浜イノベーションセンター」（エンジニアリングプラスチック）を、2013 年には既存の尼崎研究開発センターを拡張し、バッテリー材料に特化した研究施設「尼崎研究開発センターバッテリー材料研究所」を新設しました。2013 年の BASF の日本での売上は 1,959 億円（約 15.1 億ユーロ）、従業員数は 1,301 人です。